



県内最大の発電規模

上富田でメガソーラー完成

上富田町市ノ瀬のゴルフ場跡に建設していた大規模太陽光発電所「パシフィコ・エナジー和歌山メガソーラー発電所」が完成した。敷地面積は約74万平方メートル。発電規模は111メガワット(直流ベース)で県内最大。一般家庭約4万8千世帯分の電力を賄えるという。

太陽光発電など再生可能エネルギー事業を手がける「パシフィコ・エナジー」(東京都が運営)している。施設は2020年春に着工。先立って発電設備が完成し、22年4月から売電を始めていた。11月に残りの工事が完了した。

6日に同所で竣工(しゅ

△太陽光パネルが並ぶ、県内最大規模のメガソーラー発電所(6日、上富田町で)

発行所 © 紀伊民報社
和歌山県田辺市秋津町
100番地 〒646-8660
電話・0739 (22) 7171 (代)
営業FAX・0739 (26) 0077
編集FAX・0739 (25) 3094
振替口座・00930-2-21977

和歌山支局
電話 073 (428) 7171
申本支局
電話 0735 (62) 7171

んこう)式があり、パシフィコ・エナジーやスポンサー企業の社員、工事関係者に加えて、上富田町の奥田誠町長や松井孝恵町議のほか、市ノ瀬地区の財産区や愛郷会などから計約90人が出席した。

地元の春日神社の宮司による神事を営んだ後、関係者があいさつをして施設の完成を祝った。パシフィコ・エナジーの代表取締役社長兼CEO、松尾大樹さんは、地元の関係者や施工者、スポンサー企業に感謝を述

べて「この場所は以前、地域に長年愛されてきたゴルフ場だった。地域との関係を忘れず、今後もより一層愛される施設にしていきたい」と語った。

その後、代表者でテープカットをしたほか、出席者が展望台に上り発電所を見学した。

奥田町長は取材に対し、「太陽光は、発電の過程で二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとなっている。町としても、SDGs(持続可能な開発目標)を進める上で、再生可能エネルギーの活用は必要だと考えている。町内には他にも太陽光や木質バイオマス、梅調味液を使ったバイオガス発電所などもあり、さらなるクリーンエネルギーの発展に協力してい

きたい」と話した。